

第2回あり方検討委員会会議録

1 各委員の自治会への思い

- ・自治会のことや近所のこともあまり知らずに生活している。今回の委員会に参加して分かったことを意味付けして、よりよい自治会のあり方を検討していきたい。
- ・海外ではコミュニティーは文化。強制的でないところを日本でも生かせないか。
- ・この自治会是他地区と比較すると若い世代が多い。世代にあった主体的な活動（サークル活動など）を考えてはどうか。
- ・政治は大きな方向性が必要、自治会は家庭のメリットを考慮するとよいのでは。
- ・約4割の201件が加入している。アパート等の方は入っていない方が多い。強制でなく参加できる方法を考えても良いのではないか。子供が小学校を卒業したら自治会をやめる方もいる。
- ・この地域に60年住んでいても、自治会についてあまり理解できていない。今回色々調べて自治会には何らかの意味付けが有る活動と、自治会だけの主体的な活動の部分があるといいのではないかと思った。

2 今後の自治会のあり方

(1) 自治会に必要な役割や役職の共通理解「自治会と役員の仕事の資料」を確認しながら。

- ・自治会は宇都宮市自治会連合会の下部組織である。
- ・自治会は社会福祉協議会とまちづくり協議会と連携している。
- ・ごみの収集や防犯灯管理、公園清掃は宇都宮市役所と連携している。
- ・交通防犯は泉が丘地区防犯ネットワークと連携している。
- ・地区の防災は連合自治会と連携して実施している。
- ・子ども会は栃木県子ども会連合会の下部組織で、自治会と連携している。
- ・登校班は小学校が地域の子ども会へ編成を依頼している。
- ・地区体育祭、体育部の各種事業は泉が丘自治会連合会の体協と連携している。
- ・泉が丘地区盆踊りは泉が連合自治会等が主催している。
- ・泉が丘西自治会が独自で実施しているのは、ふれあいまつり、資源物回収（宇都宮市と連携）、公園清掃（宇都宮市と連携）、総会、班長会議等です。

*このようなことを踏まえて、今後のあり方を検討していく。

（２） 自治会長の役割について

- ・ 自治会長の役割を確認した。今後は今の時代にあった役割を検討する必要がある。
- ・ 会長複数制や副会長との分担などについて検討し、自治会の会則を時代の流れに併せて修正していく。
- ・ これまでの自治会長は、理事が選任し会長に報告するという流れの中で相談しながら決めてきた。自治会長の選任の方法については、これ真までの流れを踏襲しつつ、今の時代にあった方向に検討していく。

３ 次回に向けて

（１） 次回の日程

６月２５日（土） １７時 クリニックステーション１階

（２） 次回の協議内容

自治会長の役割を明確化し、会長複数制や副会長との役割分担、次期会長選任の方法などについて自由に意見を交換する。